

## 第4学年「総合的な学習の時間」における評価規準

【探究課題】 さまざまな立場の人たちとその暮らしを支援する仕組みや人々

【単元名】 「北小岩からやさしさをひろげよう」

【単元の目標】 地域社会にくらす様々な立場の人たちを支援する仕組みや人々について知る活動を通して、共に地域社会に暮らすために自分にできることを考え行動する。

【単元の評価規準】

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	(1)地域に暮らす様々な立場の人たちとその暮らしを支援する取組や人々の仕組みについて理解している。 (2)自分で設定した課題を解決するために、収集した資料の情報を読み取っている。	(1) 地域に暮らす様々な立場の人たちとその暮らしを支援する取組や人々の仕組みについて課題を設定している。 (2)地域のひととの関わりから情報を収集している。 (3)得られた情報を比較・分類・関連付けながら、整理分析し、課題について考えている。 (4)相手や目的に応じてまとめ、表現している。	(1)課題を解決するために、見通しをもってすすんで取り組もうとしている。 (2)課題を解決するために、友達の考えを受け入れながら自分の考えに生かそうとしている。 (3)課題を解決するために、身近な人たちや地域の方たちの取組に関心をもち、意欲的に関わろうとしている。
具体的な評価規準	(1)江戸川区や小岩地区に暮らす様々な立場の人たちとその暮らしを支援する取組や人々の仕組みについて理解している。 (2)江戸川区や小岩地区に暮らす様々な立場の人たちとその暮らしを支援する取組や人々の仕組みについて設定した自分の課題を解決するために、地域の方にインタビューしたり、ホームページや図書資料から必要な情報を読み取ったりする。	(1) 地域に暮らす様々な立場の人たちとその暮らしを支援する取組や人々の仕組みについて課題を設定している。 (2)地域に暮らす様々な立場の人たちやその暮らしを支援する人々との関わりから、情報を収集している。 (3)得られた情報を比較・分類・関連付けながら分析し、課題について考えている。 (4)情報収集して、調べて考えたことを、相手や目的に応じてまとめ、表現している。	(1)課題解決に向けて、すすんで探究しようとしている。 (2)友達のよさを生かし、認めながら、共に課題について考え乗り越えようとしている。 (3)江戸川区や小岩地区に暮らす様々な立場の人たちとその暮らしを支援する取組や人々の仕組みに関する探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、考えたことを実行しようとしている。